

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

別添資料6

公表:2024年2月20日

事業所名:てらびあぼけつと平野教室

保護者等数(児童数) 19名

回収数 17名

割合 89%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	17件	0件	0件	0件		
	2	職員の配置数や専門性は適切である	17件	0件	0件	0件		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	15件	1件	0件	1件		ヒヤリハットになりそうな危険なところがないか毎日点検を行い発見の際は早急に改善をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	17件	0件	0件	0件		
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	17件	0件	0件	0件		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	17件	0件	0件	0件		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	17件	0件	0件	0件		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	16件	1件	0件	0件		単調にならない様なプログラム構成で支援し、保護者様へのフィードバックは理解しやすいように伝達を行います。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4件	1件	4件	8件		今後地域交流のイベントに参加できるよう検討して参ります。
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	17件	0件	0件	0件		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	17件	0件	0件	0件		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	10件	0件	1件	6件		保護者様からの希望により必要に応じて行います。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	17件	0件	0件	0件		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	15件	1件	1件	0件		月に一回の事業所内相談以外にも保護者様にお声かけをしてコミュニケーションをとっていきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2件	0件	9件	6件		今後開催を検討して参ります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	15件	1件	0件	1件		保護者様から頂いた意見はその日に職員間で共有し次回の利用の際に反映するようにしています。今後も随時対応を行ってまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	16件	0件	0件	1件		今後も現在同様に行っていきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	14件	1件	0件	2件		初年度の為今後は毎年随時行っていきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	17件	0件	0件	0件		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	14件	1件	0件	2件		今年度は職員のみで2回の訓練を行いました。来年度以降はお子様や保護者様を含めた訓練を予定しております。SNSで訓練の様子を配信していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	9件	1件	0件	7件		年に2回の訓練を徹底しております。訓練後にはSNSで様子を配信していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	17件	0件	0件	0件		
	23	事業所の支援に満足している	17件	0件	0件	0件		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年2月20日

事業所名 てらびあぼけつと平野教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	広い空間を保つためにももの整理整頓を徹底しています。	
	2	職員の配置数は適切である	4	0	現在新入社員の求人を行っています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0	段差はほとんどなく見通しのあるお部屋になっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	毎日清掃を行い、日々きれいな教室を保つ工夫をしています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	振り返り・改善を繰り返しながら業務に取り組んでいます。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	今回実施しました。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	4		オープン後今回が初めての自己評価実施なのでHPや教室に貼りだして結果を周知していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4		オープン後今回が初めての自己評価実施なのでまだ行っていませんが今回の結果を改善に活かしていきたいです。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	毎月1回以上は教室内で研修を行っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	お子様に合わせた計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	共通のアセスメントツールを職員全員で使い共有をしています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	ご要望に合わせて一人ずつ計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	日々職員間で共有をして取り組んでいます。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	職員全員で話し合いをして行っています。	立案するために時間を確保しました。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	意見交換をしながらお子様が飽きないプログラムを設定しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	0	ご要望にお応えしながら作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	毎日朝礼にて業務の確認を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	毎日終礼にて情報共有を徹底しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	共通の記録ツールを使って議題をだし毎月会議を行っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	保護者様に教室に来ていただきモニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	カンファレンスは必ず行っています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	日々の申し送りや月に1度の事業所内相談支援も行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	4		(医ケア児の利用がなければ)現在は該当するお子様の利用はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	4		(医ケア児の利用がなければ)現在は該当するお子様の利用はありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	4		現在は該当するお子様の利用はありません。対象のお子様の利用児には対応させていただきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	4		現在は該当するお子様の利用はありません。対象のお子様の利用児には対応させていただきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	本部から助言や研修を行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4		個別療育ということもあり、行うことが難しいですが、機会があれば都度検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	4		個別療育ということもあり、行うことが難しいですが、機会があれば都度検討していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	日々利用児にお話しをして情報共有を心掛けています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	4		現在要望が無く行っていませんが、セラピーノートのホームエクササイズのページをご要望の際に活用していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時に説明をしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	初回利用の際に説明を行い同意をいただいています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	事業所内相談や日々のお声掛けにはその都度対応しております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4		検討中です。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	その都度職員間で共有し対応を行っています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	紙ベースではなくSNSにて発信を行っています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	事務所内で保管を徹底しております。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	傾聴を大事にしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4		検討中です。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	年に2回の防災訓練を実施し、その内容をSNSで発信しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	シミュレーションを行い対策をしています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	4	0	アセスメント時に全保護者様に確認をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	アレルギー有無を把握し表を事務所内に貼りだし職員に周知しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	その都度記録して改善策を会議しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	年に2回の研修やセルフチェックを行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	身体拘束指針を掲示し周知しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。